

ご挨拶

北海道高等教育研究所 代表理事 姉崎洋一

2015年5月22日に創設された北海道高等教育研究所 (Hokkaido Institute of Higher Education; HIHE) も、この5月で1周年を迎えることになりました。わが研究所は、京都や東京で継続的に研究活動を行っている先輩格の研究会や研究所に見習いつつ地道な活動を展開してきました。北海道の地に根ざして、高等教育に関して多角的な視点と視野からアプローチするという役割は、この研究所の初心であり原点です。さて、研究所の第一の中心は、無論研究の推進であります。創立時の第1回研究会に続き、2015年9月25日には第2回研究会、2016年1月9日には、公開シンポジウム、さらに2016年4月16日には、研究所総会に続いて第3回研究大会を開催してきました。それぞれの内容と紹介は、ニューズレター（1-3号）に要旨が掲載されていますが、私大の学校法人会計基準、国内外の高等教育政策の動向分析、北海道の私学の現状と課題、国立大学法人化の現段階について、それぞれ重要な内容分析と討議を行ってきたといえます。なお、2016年1月の公開シンポジウム「危機に瀕する道内の大学- “不当解任”の学長に聞く」では、3つの大学の学長選考における重大な民主主義の蹂躪と損壊がなされたことについて、貴重な証言がなされ、裁判闘争やオンブズマン組織の進捗についても報告されました。第二に、研究所を支えるのは、組織と財政です。研究所の会員拡大については、個人会員、団体会員の組織化が歩みは緩やかですが着実に進められてきました。それらの会費が財政の中核ともなります。第三に、研究所としての調査活動については、新たな年度での具体的な目標を掲げてきたところです。第四は、この研究所の社会的認知を高めることです。まずは、会員のご尽力によってHPの立ち上げを行いました。さらなる広報活動についても、今後充実させていきたいと考えています。大学をめぐる現況は、決して楽観的なものではありませんが、この研究所の社会に対しての役割を自覚して、大いなる挑戦を試みていきましょう。